

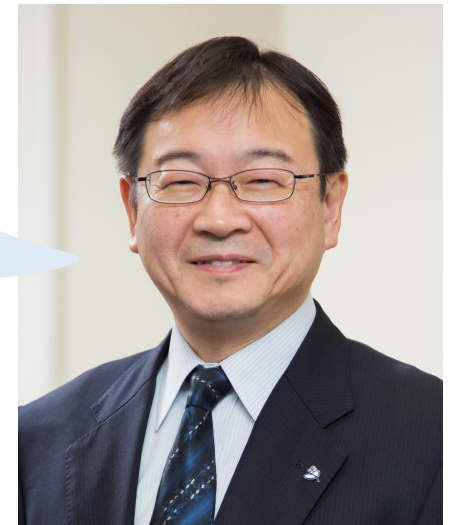
# 泌尿器科 での

# 研修について教えてください。

泌尿器科で扱う疾患は、腎移植、腎・膀胱・前立腺由来の悪性疾患、尿路感染症・性感染症・副腎由来疾患（クッシング症候群、アルドステロン症、褐色細胞腫）、排尿障害、骨盤臓器脱、尿路結石などが有り、とても幅広い領域の疾患を診断・治療しています。特に、悪性疾患は日本のすべての悪性腫瘍のうち約1/4は泌尿器科領域で占められています。また、ロボット支援下内視鏡手術（ダ・ヴィンチ）は泌尿器科が最も多く行っており、手術以外にも放射線治療や内科的治療（ホルモン療法、抗癌化学療法、免疫療法など）も行っています。つまり、診断から治療まで幅広い知識・技術を養うには申し分ない診療科と言えます。

当科ではロボット支援下内視鏡手術を数多く施行しているだけでなく、放射線治療科とも連携して放射線療法も積極的に行い、内科的治療（ホルモン療法、抗癌化学療法、免疫療法など）も多く行っております。幅広い疾患についての充実した研修を受けていただくよう、1名の研修医に対して2名の指導医がつきます。それ以外にも何でも相談できる優しい先輩もたくさんいます。

充実した研修になることは間違いなし！です。



泌尿器科 教授  
溝上 敦 先生